



2013年8月25日～30日参加

愛知県立大学 2年 遥さん



ツアーから帰国して一週間以上経ちましたが、まだまだカンボジアの余韻に浸る毎日です。それくらい私にとってカンボジアは思い出に残る場所になりました。

ツアーに参加する前は、カンボジアと言えば地雷やポルポト政権など残酷な歴史を背負

った国という印象でした。しかし、実際に現地を訪れてみるとその印象は全く覆されました。このツアーを通して一番に思ったのが、カンボジアの人たちは明るくて元気だということです。孤児院や中学校、日本語学校、リハビリセンターを訪れて、そこにいる人たちはみんな明るくて気さくで、子供たちは無邪気がかわいくて、出会った人たちのパワーを強く感じる事ができ、その人たちから元気をもらいました。

訪れた場所はどれも印象に残るものばかりでしたが、特に行って良かったと思ったのは、だるま愛育園でした。孤児院の子供たちは本当に元気いっぱい、さらに日本語を話せる子もいたりして、すぐにみんなと打ち解けることができました。中には自分と同年代の子もいて、その子たちとは日本語でコミュニケーションをとっていました。一生懸命に日本語を話す姿に感心しつつ、自分も大学での勉強を頑張らなくては

と思われました。子供たちは皆それぞれの事情があって家族と共に生活をする事ができませんが、それを全く感じさせることなくまるで本当の兄弟のように孤児院で元気に生活している姿を見て、みんな一生懸命強く生きているんだなと感じました。

またカンボジアの人たちからも「生きる強さ」を感じました。過去に辛い経験があったり、今でも地雷が埋まっているという現状があったりするのも関わらず、町の人たちはすごく明るく毎日を生きています。しかし、辛い過去や現状が



あるからこそ、強く生きようとしているのかもしれないと思います。このツアーで本当にたくさんの場所を訪れましたが、私はそこから「カンボジアは強い国だ」というメッセージを受け取った気がします。今自分にできることは、このツアーで分かったカンボジアの現状に加え、カンボジアの人々は明るく強く生きているということを伝えることだと思います。しかし、今回は都市部を訪れ、ほかの地域での生活は見る事ができなかったため、一口にカンボジアはそのような国だと言いきる事はできませんが、今まで自分の知らなかった国がどのようなものなのかを、目で見て学ぶ事ができたので、私にとって大きな経験となりました。

この6日間でカンボジアでたくさんの人に出会い、またツアーに参加した仲間との出会いもあり、人生で貴重な財産になるような経験をたくさんしました。そして、カンボジアという国が大好きになりました。機会があればもう一度行ってみたいと思います。

このツアーでお世話になった曾田さん、古川さん、ツアーの準備でお世話になった星原さん、インターンの佐野さんには心から感謝しています。

CMCのツアーに参加できて本当によかったです！ありがとうございました！